

実践前の
プログラミング
資料①

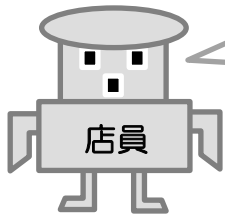
なまえ
名前

てん
点

実践前の解説 コンビニロボットの買い物①

オレンジジュースが80円、もっているお金100円
オレンジジュース買う本数が1本
のときの店員ロボットとのやり取りを
簡単なプログラミングを例としてみてみましょう

ロボット店員の会話



お支払い金額は 80 円です。

おつりは 20 円です

ありがとうございました。

ロボット店員の会話の中をプログラミングで書くと・・・

オレンジジュース金額 ← 80

お金 ← 100

本数 ← 1

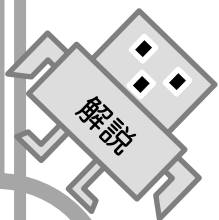
合計金額 ← (オレンジジュース金額) * (本数)

店員ロボット (“お支払い金額は” + (合計金額) + “円です。”)

店員ロボット (“おつりは” + (お金) - (合計金額) + “円です。”)

店員ロボット (“ありがとうございました。”)

となります。



①ロボットが計算式や数字以外の言葉を話したいとき
“ “や ‘ ’ ” で言葉を囲むよ

②計算式や数字と一緒に他のことを話したいときは
+ を使って組み合わせるんだ